地域環境に貢献

菊陽町造園業協会ボランティア

11月１日、大住樹徳（おおすみたつのり）さん（杉並台）が会長を務める菊陽町造園業協会のボランティアが町道川久保下津久礼線で実施されました。

ボランティアに参加したのは、町内で造園業を営んでいる６社。

道路の景観美化のために例年実施しており、今年は先般開催された高校駅伝のコースになっている同路線上の除草を行い、地域の快適な環境づくりに貢献しました。

菊陽町造園業協会の皆さん

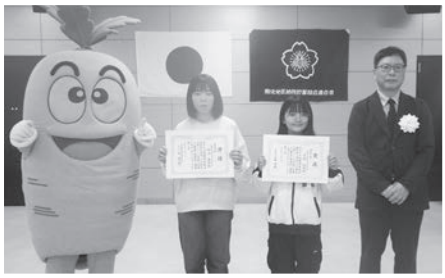
道路の景観美化に貢献

暮らしを支える税を知ろう

「税を考える週間」作品表彰式

11月12日、「税を考える週間」作品表彰式が、キャロッピアで開催されました。

毎年11月11～17日の１週間は、税務行政への理解と信頼を高めるための「税を考える週間」とされ、小・中学生から税を題材にした作文、標語、書道、ポスターなど、多数の応募がありました。本町からは２人の小学生が入賞しました。


中央左から、村上愛栞（むらかみまなか）さん（にじの森）、児玉心陽（こだまこはる）さん（光の森６町内）

町のスポーツ振興に尽力

全国功労者表彰

11月13日、町スポーツ推進委員の二殿史朗（にどのしろう）さん（馬場楠）が、長野県で行われた第66回全国スポーツ推進委員研究協議会で全国功労者表彰を受賞しました。

二殿さんはスポーツ推進委員として26年間、町のスポーツ振興に尽力しました。各種大会の運営や審判、ニュースポーツの普及活動、実技指導などに取り組んでおり、「今後も活動を続けていきたい」と話しました。

賞状を受け取る二殿さん（写真中央）

馬場楠井手の鼻ぐりについて知ろう

鼻ぐり井手祭

11月16日、世界かんがい施設遺産および熊本県史跡である馬場楠井手の鼻ぐりの周知や、地域活性化を目的に鼻ぐり井手公園とその周辺で、鼻ぐり井手祭を開催しました。

ステージでは馬場楠の獅子舞の演舞をはじめ白菊保育園の園児による遊戯、菊陽中学校合唱部の合唱や吹奏楽部の演奏などが披露されました。また、菊陽南小学校の児童による鼻ぐり井手音楽劇が披露された後に新たに制作した絵本「鼻ぐり井手物語」の受け渡し式が行われました。

農産物や食べ物の販売コーナーでは、新鮮な野菜をお得に購入したり、親子で地元グルメを食べたりする姿が見られました。最後には、毎年大人気のお楽しみ抽選会を行い、祭りをにぎやかに締めくくりました。

左から矢野優太（やのゆうだい）さん、松永政秋（まつながまさあき）さん

待望の公民館完成

新町西区公民館が完成しました

11月16日、新町西区公民館の落成式が行われました。当日は、区民をはじめ、吉本町長や公民館建設に携わった多くの人が出席し、公民館の完成を祝いました。

新しい公民館は、幅広い世代が利用できるよう、バリアフリーに配慮した建物となっており、会議室や調理室、倉庫などが備えられています。

今後は、この公民館が地域の活動や交流の拠点として広く活用される場となることが期待されます。

完成した公民館

関係者の皆さん

寄付金をいただきました

子育て支援に寄付金を活用

「くまもと県民の日」で開催された“おでかけするよ！こどもでじまはく”の入場料について、㈱熊本県民テレビより全額を寄付いただけることとなり、11月26日に寄付目録・感謝状贈呈式を執り行いました。

同社宗田英成代表取締役社長は、「菊陽町の子育て支援に活用してほしい」と話しました。

寄付金は、町の総合計画に掲げるさまざまな子育て支援に活用させていただきます。

吉本町長(左から３番目)と
宗田代表取締役社長(左から４番目)

力士との交流を深める

大相撲力士が菊陽西小学校と町内介護老人保健施設を訪問しました

11月26日、大栄翔関と県内出身３力士・竜翔さん、阿蘇ノ山さん、穂嵩さんが町内施設を訪問しました。

菊陽西小学校では６年生と相撲や綱引きを楽しみ、一緒に給食を食べました。

その後、町内の４つの介護老人保健施設を回り、利用者とミニ運動会や写真撮影をしました。

力士とレクリエーションを楽しむ

団体戦で菊陽西小学校児童が奮闘

スナッグゴルフ全国大会

11月29日、第22回スナッグゴルフ対抗戦ＪＧＴＯカップ全国大会が兵庫県で行われました。町からは、県予選優勝の菊陽西小学校が出場。選手の皆さんは練習の成果を発揮し、大会を楽しみました。以下、菊陽西小学校の出場選手です。

学年	出場選手名	学年	出場選手名
５年	山領　悠真	４年	田中　隼翔
４年	中村　健人	３年	山領　美緒
４年	荒木　脩		

出場した選手たち

お披露目式を開催しました

大野勝彦ＰＲ大使制作詩画「菊陽讃歌」

12月２日、役場本庁舎で大野勝彦ＰＲ大使制作詩画お披露目式を開催しました。この詩画は、今年８月に菊陽町ＰＲ大使に就任した大野さんに、菊陽町合併70周年を記念して制作を依頼したものです。詩画がお披露目され、集まった町民や職員から歓声が上がったあと、大野さんからご自身のこれまでの境遇やふるさと菊陽への思いが語られました。

制作詩画は菊陽町役場本庁舎１階ロビーに展示していますので、役場へお越しの際にはぜひご覧ください。

菊陽町ＰＲ大使の大野勝彦さん(左から３番目)

大相撲菊陽場所を開催しました

菊陽町合併70周年記念事業

12月６日、菊陽町合併70周年記念事業として、町総合体育館にて、大相撲菊陽場所を開催しました。

当日は熊本県出身の、義ノ富士さん、正代さん、藤青雲さん、佐田の海さんら４人の力士との撮影会が行われ、行列ができていました。そのほかにも、相撲甚句および相撲の禁じ手をユニークに紹介する「初切」の披露や、迫力のある取組も行われ、会場へ訪れた約３千人の観客が相撲の醍醐味を間近で感じ楽しみました。

迫力の取組

また、宇土少年相撲クラブの子どもたちに力士が稽古をつける場面もあり、子どもたちは貴重な体験に目を輝かせていました。菊陽場所を楽しみに来場された人は、「いつもテレビで見ている憧れの力士を、とても近い距離で見ることができて嬉しいです」と、喜びを語られました。

左から小牧副町長、吉本町長、豊昇龍関、
福島議長、二殿教育長

色とりどりの化粧廻しを締め土俵入りする力士

板番付の前で家族で写真撮影